

テーマ展示2

「史料が伝える戦時下のぐんま」開催中！

今、東ヨーロッパや中東では戦争が行われており、戦禍に巻き込まれた人々の様子が連日伝えられています。戦場となっている国では、多くの命や家が失われ、人々は今もミサイルなどの攻撃に怯える日々を送っています。

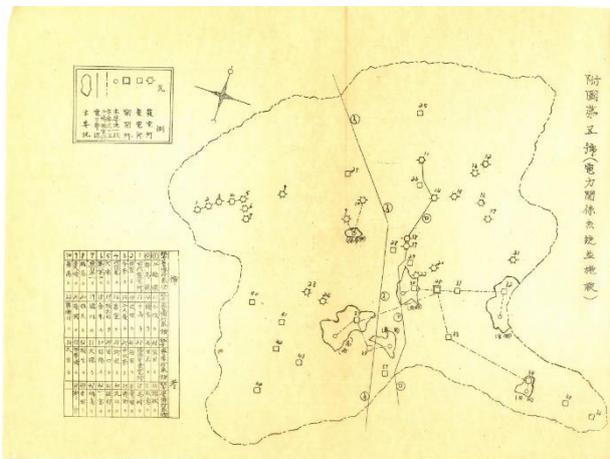
およそ80年前、日本も戦争をしていました。群馬県でも、戦争により働き手が減り、食料も物資も不足する中で、金属や飼っている動物の提供を求められ、また、爆撃機などによる都市への攻撃が繰り返されるなど、次第に戦争前と同じ生活はできなくなっていました。

いつの時代にあっても、戦争は、「日常」を変えてしまうのです。

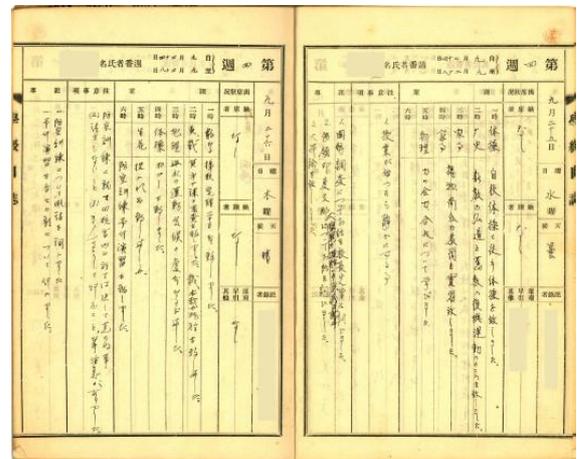
実際に戦争を体験した人々が少なくなっていく中で、その記録を未来に引継ぐことは、当館の重要な役割です。

今回の展示では、当館の収蔵資料から、防空、軍需工場の実態、物資の供出、救われた文化財、学校の記録など、戦時下の群馬県に関連する史料を紹介し、当時の人々の生活を振り返ります。

※ ホームページにてインターネット展示も開催します（随時更新）。



〔群馬県総動員警備計画〕（群馬県行政文書）



〔学級日誌（安中高等女学校）〕（群馬県行政文書）

- 日程 令和6年1月13日（土曜日）から3月24日（日曜日）（月曜日、月末、国民の祝日を除く。）
午前9時～午後5時まで（閉館の10分前までにご入館ください）
ホームページ <https://www.pref.gunma.jp/site/monjyokan/>
- 会場 群馬県立文書館 1階ロビー及び展示室
〒371-0801 前橋市文京町三丁目27-26（二子山古墳の西隣）
- 観覧料 無 料
- 問合せ 電話：027-221-2346 メール：monjyo@pref.gunma.lg.jp